

## 参考(xR技術等を活用した消防活動訓練)

## 現状の課題

・消防学校には、火災現場を想定した模擬消火訓練施設があるが、多数の消防学生が在籍しているため、空間的・時間的・経済的な面から、一人あたりが実施できる訓練の回数に限りがある状況である。

また、熱中症警戒アラート発令時等、屋外での長時間の訓練が実施できない環境では、効果的な訓練を実施することが困難である。

・ヒヤリハット事案や実際の事故事例について、情報を共有し再発防止に努めているが、客観的な資料からでは、事故発生時のよりリアルなイメージを持つことが困難である。

## 解決策

・火災現場や事故が発生したシーンを仮想空間内でリアルに再現ができるxR技術等の活用により、「いつでもどこでも」「安全に」「効果的に」訓練を実施することが可能となる。

## 期待するシステムの機能

- ① 視覚や聴覚などの感覚に訴えて火災現場をリアルに再現できる機能
- ② バーチャル空間上で消火活動を疑似体験できる機能
- ③ ヒヤリハット事案や実際の事故事例を疑似体験できる機能

- ・現場で活動する隊員主観視点で360°方位を確認できる映像
- ・実写、CG又は合成のいずれか体験効果が高まる映像
- ・火炎の様子や煙の色・濃度などリアルな燃焼の再現
- ・フラッシュオーバーやバックドラフト等、特異な燃焼の再現
- ・時間経過や行動選択による変化の再現
- ・各コンテンツ5分程度のシナリオを複数制作
- ・VRゴーグルがない環境でも視聴するための映像データの提供

※技術検証及び実装については、スタンドアロンを想定しています。

